

グローバルインターンシップ 香港 2018年度春

《プログラム趣旨》

グローバルインターンシップ・香港プログラムでは、現地の企業・NGOにおいて3週間程度の就業体験を行います。

また派遣の前後には、事前学習、事後学習が行われ、目標設定、就業体験の意義、学生自身の専門との関係、体験の振り返りをグループワーク、ディスカッションを通じて掘り下げていきます。

香港プログラムは、国内でJTBでの事前研修を行ったうえで、JTB香港にて、観光コースの企画提案を行う、実践的なPBL型インターンシップとなっています。

社会において要求される、情報収集、コミュニケーションを通じた企画立案といったスキルの向上を目的とする、実践的なインターンシップです。



《履修の流れ》



T4 : エントリー、面接・選考

T5 : 「グローバルインターンシップ事前学習」 [木曜日6限]受講

T6 : 海外研修 (2週間)

T1 : 事後学習 (振り返り、成果報告)

応募資格

- 日常会話程度の英語能力を有するもの
 - 応募締切、選考試験、事前事後学習、報告等の期限を守って手続きし、参加義務を果たすことができる者
 - チャレンジ精神を持って、積極的・能動的にインターンシップに臨むことができる者
 - 履修に当たり、担当教員及び派遣先企業の指導の下、また示されたルールを遵守し、安全に海外渡航及びプログラムに参加できる者
- ※ 通常「グローバルインターンシップ」は学部2年以上の学生を対象としていますが、本プログラムについては、1年生から応募を受け付けます。

◆ 募集人数：2名

◆ 開催時期：3月10日(日)～3月24(日)【予定】

参加費

- 渡航費 (約7万円程度)
- 海外旅行保険加入費
- 危機管理システム加入費
- 宿泊費 (5万円前後)
- 交通費
- VISA申請料
- その他個人的な支出 (食費など)

奨学金： **給付型7万円** 支給については学業成績などで判断されます。

日程 (案)

3月10日：出発

3月11日：就業体験開始

～3月22日：就業体験終了、企画提案プレゼンテーション

3月24日帰国

香港の歴史と文化を感じる

文武廟 マンモウミュウ

資料写真がもたらした昔の人々にとって
文武廟は、問題解決の場として、
とても重要な場所でした。

DATA 2015年3月現在
・営業時間 8:00～18:00 年中無休
・香港上環荷李活道129號
・土曜日の20:00から夜参10分

文武廟(字義の神祇と釋教寺院(武運の神祇が祀られています。開創者は、14の棟梁をとり、拜むと幸運が良くと賞されています。)

子どもの文武両道を願う数々の中核を祈願する亭舎など、多くの観光客が訪れます。

文武廟は文芸象徴する歴史を持っています。姓名と数字にご利益があります!

今年から大きな渦巻きの様子がぶら下がり、中にはぬいぐるみも飾られています。

この文武廟は神祇の心象の場として利用されています。寺院には奉納品がくわつて置かれています。お賽銭は、社会福祉に使われます。 →

地域の観光資源である十五歳が祀られています。定期的に十五にお参りすることにより、災いを避けることができると信じられています。

※写真は全て香港

派遣都市：香港

- イギリスの東アジアでの拠点として発展した街
- 20世紀末の中国返還後も、その中国、そしてイギリスの文化が混ざった独特の文化を維持しながら、東アジア経済の中心地として、そして有数の観光地として栄える
- 新興国経済を多様な文化に触れながら、未来を考えるのに相応しい環境

応募方法

- ① Moodle2018 > 「グローバルインターンシップ1」に登録
登録キー：**G15K31101**
- ② 「エントリーシート」「面接希望票」をダウンロード
- ③ 「エントリーシート」「面接希望票」に必要情報を記載後、Moodleにて提出
※手書き不可、書式変更不可

締切：11月9日（金）17:00

- ④ 担当教員から面接日程の連絡（エントリー後すぐに連絡します）
- ⑤ 面接（教員）

■相談期間■

プログラム選択に迷っている、参加するに当たって不安や疑問がある、という場合は応募前に担当教員が相談を受け付けます。教員の空き時間情報についてはMoodle上に掲示してあります。それを参考に教員と日程調整してください。

相談受付期間：10月22日（月）～11月9日（金） 担当教員：国際教養学部崎山



問合せ先

【担当教員】

国際教養学部 崎山 直樹

総合校舎G-1 2階 208号室

メール：nasastar@faculty.chiba-u.jp

●千葉大学の規定に則り、外務省「海外安全ホームページ」における安全対策4つのカテゴリーに従って、渡航地域がレベル3以上になった場合は渡航を中止また渡航中である場合はプログラムをキャンセルし帰国等の対応をします。

●天災、火災、不慮の災害、政府及び公共団体の命令、ストライキ、戦争、盗難、暴動、税関規則など、不可抗力の事由により生じた損失、病気、または本人の責め、その他の事由により発生した事故などについては責任を負いかねます。また、上記の事情により担当教員の判断によってプログラムを中止する場合があります。